



b-lab通信とは？

2015年4月1日にオープンした中高生向け施設「文京区青少年プラザb-lab」の運営や、活動をお知らせするため、区内の中学校と高等学校等の教員の皆様、及び地域の皆様に向けて発信する広報誌です。

毎日朝から中高生で賑わっていた長い夏休みも終わり、平日の静けさを取り戻すかに思えたb-labですが、そんな日々も束の間。学祭の練習に向けて短い秋休みにb-labを活用する大勢の中高生たちで混雑する日も増えてきました。

音楽の練習をしている者もいれば、討論会に向けて皆で話し合ったりする者、催し物の小道具を準備する者。私たちスタッフも中高生たちがどんな風にb-labを活用してくれるのか毎日ワクワクしています。

受験生にとっては本格的なシーズンに入り、自習室として使ったり、勉強の合間の息抜きに訪れたりと目的別に多種多様に取り組むこの時期。中高生たちが思い描く中長期の未来に向かって常に前進していけるように職員一同丁寧に寄り添っていきたくて思っております。

☎ b-lab情報は下記からも配信しています！

 @b-lab_tokyo
  @b-lab
  <http://b-lab.tokyo/>

1. b-labからのお知らせ

■ 中高生スタッフを募集します！

b-labの施設運営に関わる中高生が「中高生スタッフ」として、文化、スポーツ、学習、b-labの運営など、自分の興味ある分野で企画運営に携わっています。

第14期中高生スタッフは12月より募集を開始いたします。【活動期間：1月～3月末/活動場所：b-lab】

■ 今年の冬フェスは12月27日（木）、28日（金）です！

冬フェスが12月27日、28日に行われます。部活や課外活動の発表にと、ぜひご参加ください。



昨年の冬フェスの様子▲

2. 新スタッフ紹介



かじくん(梶田悠馬)

10月よりb-lab勤務になりました、梶田と申します。b-labではトランプなどゲーム類の担当を中心としてフロア管理業務を行っております。中高生にとってゲームは毎日遊ぶものなので、いかに色々なゲームに触れてもらうか、普段では関わらないような様々な人とのコミュニケーションを発生させるのか、などを意識しています。また中高生と関わる中で彼らが何気無く発する「やってみよう」という声に耳を傾け、イベント参加を促したり、挑戦ごとに伴走できたり出来るよう日々活動しております。まだまだ b-labに来たばかりで慣れないところもありますが、少しずつ中高生と一緒に歩いていけたらと思っております。

3. イベントレポート

■ マナビ場

b-labでは毎週木曜日に<マナビ場>を開催しています。元教諭や、現役の塾講師、現役の大学生であるb-labスタッフが、勉強の質問や時には学校の悩みにも答えてくれます。ただ自習するだけでなく、参加者の勉強効率が上がるように、工夫しています。



9月6日(木)には、夏休みから始まった、高校生企画の1日ひたすら自習を行う「Study」(Study+day)とマナビ場が同日開催されました。朝から自習のため学校が休みの高校生がb-labに集い、夕方にはスペイン語のミニ講座、夜はマナビ場へと充実した学習日を過ごせたようでした。

- ・疲れました(笑)。源氏物語面白かったです。【高校3年生】
- ・カンボジア語講座が面白かった。つくりとしては単純だったので興味を持った【中学3年生】

■ NEWS CAFE

9月22日(土)に第2回ニュースカフェが開催されました。

この日のテーマは「総理大臣」。前半はクイズに答えながら、ニュースへの理解を深め、後半は参加してくれた中高生が主役となり、総理大臣に向いている人とは?を語り合いました。総理大臣に必要な資質、性格などを挙げてもらった後、実際の人物で総理大臣に向いている人を発表してもらいましたが、本気で選ぶとなると難しいようでした。リーダーのあり方を考えると、この国を考えること。時間があるときに多くの中高生にこのテーマについて考えてもらいたいと思います。



- ・政治経済をもっと受験に向けて頑張ります。今日はそのきっかけになりました。【高校3年生】
- ・政治のことを議論する場所はありませんからいいと思う【高校2年生】



■ はじめての日本語ラップ講座

9月25日(火)に「はじめての日本語ラップ講座」が開催され、MCバトル、日本チャンピオンの晋平太さんを講師としてお招きいたしました。そもそもラップとは?!から晋平太さんが丁寧に解説してくださり、「自己紹介」をラップに乗せるワークショップが始まりました。



初めは緊張していた参加者たちも、自分の夢をラップに乗せて表現することができました。最後には晋平太さんが「主人公」という曲を披露してくださり、達成感と感動という余韻を残して楽しい時間が終わりました。

- ・元々ラップをカッコいいと思っていたけれど、ラップをする意味やそこにこめられた思いなどは知らなかったので、今回を通じてそれが知れてよかったです。【中学3年生】



■ うどん作り

10月13日(土)に粉をこねるところから始まる「うどん作り」が開催されました。毎年この時期の恒例イベントです。



10月は「世界食糧月間」です。世界では全ての人が食べられるだけの食糧は生産されているのに、9人に1人が十分に食べられていません。複雑になっている飢餓や食糧問題の解決に向けて、私たちに何かできることはないか、まずは食への意識を高める時間を過ごそう、というスタッフの思いから始まりました。この日はさらに「うどんを探究する」というイベントも開催されました。うどん派?そば派?の質問から全国のご当地うどんや、香川県についてもプレゼンテーションが行われ、最後には世界の食糧事情について動画を交えて紹介しました。



食べることへの喜びを感じ、いつも食生活を支えてくれる人への感謝を感じて世界の食糧事情について考えられる良いきっかけになったのではないのでしょうか。

4. b-lab施設利用

バスケットボール等ができる「プレイヤーード」、卓球ができる「軽運動室」、ダンス等ができる「ホール」、楽器の演奏ができる大小「音楽スタジオ」を部活動やその他の日々の練習場所として、また冬フェスを発表の場として是非ご活用ください。

5. b-labへ行く



住所:文京区湯島四丁目7番10号
アクセス:大江戸線「本郷三丁目」から徒歩8分
丸ノ内線「本郷三丁目」から徒歩10分

電話:03-5800-2731
千代田線「湯島駅」から徒歩8分
都営バス「湯島4丁目」から徒歩5分

編集後記

b-lab通信30号を最後まで読んでいただきまして、ありがとうございました。中高生にとって日常の中心は家庭、学校ですが、b-labを第3の居場所として訪れてもらえるよう日々貢献していきたいと思っています。今号より、通信の担当が永沢に変わりました。今までの通信の良いところを継承しつつ、自分なりの表現でb-labの活動内容を先生方に発信していきますので、どうぞよろしくお願いたします。



詳しくは公式Webサイトへ
<http://b-lab.tokyo/>

ビーラボ 文京区 検索